

浦河町社協だより

ゆうなぎ

安心して生活できる
町づくりをめざして

2018. 8 No 36



あなたに、そして皆さまに幸せがいっぱい届きますように…



	表紙
・浦河町限定「赤い羽根」寄附金付きピンバッジ «2018バージョン»	2
・浦河町社会福祉協議会事業計画・予算・決算	3
・生活支援コーディネーターの活動	4
・デイサービスセンターの活動	5
・ボランティアセンターの活動	6
・こんばすの活動・赤い羽根共同募金・老人クラブの活動	7
・心配ごと相談所・小地域ネットワークの活動	8
・浦河日赤を応援する会の活動・社会福祉事業へのご寄附	

～この社協だよりは、共同募金の配分金の一部が使われています～

基本方針

平成29年度法改正（社会福祉法人改革）による社会福祉法人運営体制を1年かけて整備して参りました。平成30年度は介護保険制度改革、労働法改正そして地域支援整備体制の構築と新たに法人としての体制整備を進めていくこととなります。本年度についても当協議会が従来から支柱としております「安心して生活できる町づくり」を基本として事業推進して参ります。

事業計画

- ・法人運営事業
- ・高齢者生活支援等サービス事業の実施（受託事業）
- ・地域、在宅福祉情報の提供
- ・地域福祉の拠点づくり
- ・地域支援事業（総合事業）の実施
- ・心配ごと相談事業の実施
- ・ホームページの有効活用
- ・障がい福祉サービス(居宅)事業の実施
- ・介護保険サービス事業の実施
- ・自立と社会参加活動の推進
- ・地域生活支援体制整備事業の構築と推進
- ・わかもの就労支援事業の実施
- ・地域福祉ネットワークづくり
- ・地域・在宅福祉サービスを担うマンパワー育成
- ・日常生活自立支援事業の実施
- ・託老事業「愛の会」の支援
- ・住民参加型在宅福祉サービスの推進
- ・その他の事業（各団体事務局）
- ・ボランティア活動等の推進
- ・要介護世帯の把握、各関係機関等との連携

平成30年度予算

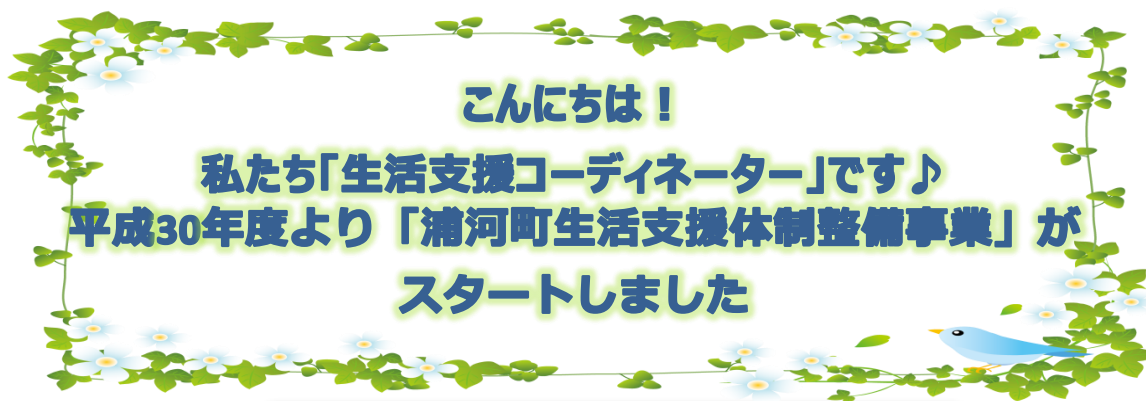
(単位：円)

事業活動による収支	会費収入	10,000
	寄附金収入	700,000
	経常経費補助金収入	10,221,000
	受託金収入	23,477,000
	貸付事業収入	300,000
	事業収入	40,000
	負担金収入	1,507,000
	介護保険事業収入	132,036,000
	障害福祉サービス等事業収入	3,605,000
	受取利息配当金収入	50,000
	その他の収入	80,000
	事業活動収入計(1)	172,026,000
	人件費支出	135,436,000
	事業費支出	12,236,000
施設整備等収支	事務費支出	20,408,000
	貸付事業支出	300,000
	共同募金配分金事業費	657,000
	助成金支出	218,000
	負担金支出	208,000
	事業活動支出計(2)	169,463,000
	事業活動差額(3)=(1)-(2)	2,563,000
	施設整備等収入計(4)	0
	固定資産取得支出	827,000
	施設整備等支出計(5)	827,000
	施設整備差額(6)=(4)-(5)	△ 827,000
	その他の活動収入計(7)	0
	その他の活動支出計(8)	0
	その他の活動差額(9)=(7)-(8)	0
当期収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)		1,736,000
前期末支払資金残高(11)		56,333,000
当期末支払資金残高(10)+(11)		58,069,000

平成29年度決算

(単位：円)

事業活動による収支	会費収入	10,000
	寄附金収入	1,021,705
	経常経費補助金収入	10,030,202
	受託金収入	18,030,500
	貸付事業収入	153,000
	事業収入	19,200
	負担金収入	1,397,670
	介護保険事業収入	126,177,535
	障害福祉サービス等事業収入	3,243,843
	受取利息配当金収入	44,208
	その他の収入	167,968
	事業活動収入計(1)	160,295,831
	人件費支出	123,081,117
	事業費支出	12,040,084
施設整備等収支	事務費支出	18,697,389
	貸付事業支出	170,000
	共同募金配分金事業費	663,986
	助成金支出	569,300
	負担金支出	222,800
	事業活動支出計(2)	155,444,676
	事業活動差額(3)=(1)-(2)	4,851,155
	施設整備等収入計(4)	0
	固定資産取得支出	3,229,416
	施設整備等支出計(5)	3,229,416
	施設整備差額(6)=(4)-(5)	△ 3,229,416
	その他の活動収入計(7)	0
	その他の活動支出計(8)	0
	その他の活動差額(9)=(7)-(8)	0
当期収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)		1,621,739
前期末支払資金残高(11)		54,673,226
当期末支払資金残高(10)+(11)		56,294,965



こんにちは！

私たち「生活支援コーディネーター」です♪ 平成30年度より「浦河町生活支援体制整備事業」が スタートしました

～生活支援体制整備事業について～

本事業は平成30年度、浦河町より浦河社会福祉協議会が受託いたしました。事業開始にあたり、体制整備役の「生活支援コーディネーター」として、高齢者が生活している中での困りごと（掃除・買物が難しい、話相手がない等）を把握し、その困りごとに応えながら高齢者の生活を支える体制づくりを進めていきます。また、高齢者になっても住み慣れた浦河で安心して過ごすことができるように生活を支え、高齢者の社会参加や生きがいを推進します。

～生活支援体制整備事業の目的～

おひとり暮らしや支援を必要とする高齢者が増加する中、地域組織やボランティア、老人クラブ、社会福祉法人、民間企業など、地域の多様な主体が連携を図り、高齢の方々の生活を応援していきます。そして、高齢の方々が生活している中で感じている困りごとについて、浦河の皆さんと一緒に解決方法を考え、お互いに支え合い、人と人との繋がりを大切にする地域づくり、体制づくりを目指していきます。

～生活支援コーディネーターの主な取り組み～



皆さんと一緒に支え合い活動について考えます

どのような理由でどのような困りごとがあるのかを「関係機関の会議への出席」や「サロン活動の参加」、「アンケート調査や聴き取り調査」などにより把握し、協議体で定期的に情報を共有しながら、関係機関や住民の方々との連携を通して地域の支え合い活動について考えていきます。

高齢者の生活を支える応援団をつくります

困っている高齢者の方々を応援してくださるボランティアを見出し、住民同士で地域を支える体制づくりを進め、支え合いの輪を広げていきます。

(例)ゴミ出しのお手伝い、話し相手になる、植木の水やりなど♪
興味がある方は気軽にお声掛けください！

スタートしたばかりで手さぐりの状態ですが、
様々な活動に顔をださせていただきますので、よろしくお願いします♪



デイサービスセンターです！

デイサービスセンターってどんなところ??

デイサービスセンター（通所介護）は、日帰り介護で、ご自宅からセンターまでの送迎や健康チェック、入浴・食事のご提供および、日常生活のお世話、機能訓練やレクリエーション・カラオケ等、多様なサービスを毎日ご提供、生活等についてもご相談・援助等も随時行っております。社協デイサービスセンターでは、ご利用者様に、ゆったり自由に過ごしていただけるよう、親しみやすい家族のようなスタッフが、心温まるケアを提供し、より健康で安心できる生活支援を目指します。スタッフ一同、お待ちしております！！

～ご家族の皆様へ～

ご自宅で介護をなさっている、家族の皆様にとってもご利用者様にとっても、ストレスの解消、そして、気分転換になります。「こんな時、どうしたらよいだろう？」等々、何か困ったことや心配な時は、いつでもお話を伺います。お気軽にご相談くださいね！

デイサービスセンターの一日

☆各地域へ、送迎車で迎えにまいります。 12:00～

送迎車は、リフト付きなので、車いすの方でも、楽々乗車できますよ。



昼食は、ご飯・お粥・キザミ・ミキサー食など、状態に合わせたお食事を提供しています



13:20～
～14:20

9:30～ センター到着後より、看護師他、担当スタッフによる健康チェックを行います。



9:40～ 入浴のお時間です
～11:20

＊銭湯みたいなお風呂有！
特殊機械浴という、車椅子のような椅子で楽々入浴できるお風呂もありますよ！



午後からは、コーヒータイト後手足を使った軽い運動、カラオケタイム、皆で行う、レクリエーションは、毎週メニューを変え、常に笑いあり、身体の不自由な方でも行える工夫を凝らした手作りゲーム満載！

☆ 帰りの送迎…、一日はあつという間です。帰りがけに利用者様から「また来るよ～」と言っていたことが、何より、スタッフの励みです。



『 来てくれて ありがとう 』

自由時間は自由さ！



白鳥よ



誕生会は、はっきり言って、凄いです！

♪ 毎日のレクリエーションのほか、季節行事で桜花見見学も毎年行っております（西舎へGO!）年末には、お餅つき会もごございます。毎月の誕生会は、職員の出し物でお祝いさせていただきます ♪

利用者さん募集中です！

はい！ボランティアセンターです！

～ ボランティアセンターは「ボラセン」と略して表現されています ～

皆さまこんにちは。今回は、「浦河町ボランティアセンター（通称：ボラセン）」について少し詳しくご紹介させていただこうと思います。ボラセンが「浦河町ボランティアセンター」という看板を掲げたのは平成22年度と歴史は浅く、それまで当町においてボランティア関連事業の推進や活動を実質的に担って下さっていたのは、平成5年に町民有志で立ち上げられた「ボランティアグループはまなす」の会員さんを中心とした皆さんで、高齢者のお宅への電話がけや施設訪問等の活動をしておられました。平成22年に社会福祉協議会内に「浦河町ボランティアセンター」が設置され関連事業の共有や分担等を行うなどしながら現在のボラセンの形となりました。



その間、「ボランティアをしたい」方、「すでに行っている」方、「興味がある」という、団体・個人の方々におかれてはボラセンに登録していただき、それぞれ無理のないよう、許された時間の中で「登録ボランティア」として社協や関係機関の事業と連動

した様々な活動を展開し、最大で、団体登録10団体、個人登録44名という時期もありました。しかし、平成26年の「はまなす」さんの解散等もあり登録者は減少、本年5月末現在で団体登録が9団体、個人登録が30名という状況となっており、**現在、共に活動できる仲間を募集中です。**登録ボランティアさんの主な活動としましては、以下のようなものがありますが、必ずしも全ての活動に携わるというわけではなく、自身ができそうなことをできる範囲で、曜日・時間と照らし合わせて選択して活動することができます。



<ボラセンが日常的に実施する活動>

➤配食活動（給食サービス）

週2回（火・金）給食サービスの利用者さんにお弁当をお届けする活動です。ボランティアがペアとなり社協の軽自動車で配達します。運転役のみ、お届け役のみという活動も可能です。概ね月に1～2回活動の機会があります。



➤電話がけ活動（電話サービス）

週に1回（月曜又は火曜）、電話サービスの利用希望の方々に安否確認を兼ねた様子伺いの電話をする活動です。ボラセンの部屋の電話を使い、数名で延べ30件程度の利用者さんと電話越しの会話を楽しんでいます。



➤施設訪問

町内の施設及び病院をお訪ねして、先方のプログラムに沿った支援活動をしています。



<ボラセンが主催する行事など>

➤ボランティア交流事業（清掃活動）

町内の清掃活動を通し、日頃は異なる活動に取り組んでいる実践者同士での、親睦と情報交換を図ります。



➤おしゃべりサロン（交流活動）

町内外の皆さまからお寄せいただいた古切手やリングブルを選別したりという軽作業を楽しく「おしゃべり」しながら行い、親睦と情報交換を図ります。



<団体等からの依頼など>

➤運営サポート

各種団体のスポーツ大会や福祉大会、イベント等の準備・運営サポート等依頼内容に応じて行います。



わかもの就労支援事業

当協議会では、平成24年4月より「浦河町わかもの就労支援事業 “こんぱす”（町より受託）」という事業を展開しております。様々なテーマや悩みを持つ10～20代を中心とした若者たちを応援するための事業であり、若者たちのニーズや現状を把握し個々のペースに合わせ「並走（寄り添い）型」の応援をさせていただいており今後の進路選択、ゆくゆく就職活動から就職へと役立てていただけたらと考えております。なお、利用可能な方の範囲は、原則、浦河町在住の15歳（義務教育修了時）から20歳代までとしておりますが、対象外と思われる方でも一度お問合わせ下さい。【お問合わせ電話 26-7500（こんぱす 直通）】



赤い羽根共同募金関連

日頃、「赤い羽根共同募金」の各種運動・活動に対しまして、様々なお立場からご協力いただきありがとうございます。近年は、個人・地域における「戸別募金」や「街頭募金」でのご協力は勿論のこと、各種事業所等に設置させていただいている募金箱を活用しての「窓口募金」では、「浦河町大通商店街協同組合」さんをはじめとする、「協同（共同）体」全体としてのご協力も重なり町内約50もの箇所に募金箱が設置されその成果が期待されます。

〔2018年版 ピンバッジデザイン〕



この「赤い羽根～」の運動で集まりました、皆さまからの温かな善意は、浦河町内の福祉団体・サークル等の活動に対する助成や福祉施設等の機器・車両購入費の一部としてや、災害時の準備金としても役立てられます。

また、本年度も新たなデザインの「2018 うららん＆かわたんピンバッジ（右上図参照）」をご案内しておりますので、今後も赤い羽根共同募金をご理解いただき、その運動・活動に対し温かなご支援・ご協力をお願い申し上げます。

浦河町 目標額 / 募金実績額(過去4年分)

	「浦河町共同募金委員会」目標額	募金実績（成果）額	達成度
26年度	1,316,500 円	1,410,218 円	107.1%
27年度	1,406,500 円	1,418,702 円	100.9%
28年度	1,409,500 円	1,454,702 円	103.2%
29年度	1,445,000 円	1,446,825 円	100.1%
30年度	1,442,500 円		

ご協力ありがとうございます！ 今後ともよろしくお願いします！

クラブ活動をとoshi、人生をさらに豊かにしませんか？



〔昨年のスポーツ大会の様子〕

町内には現在9つの老人クラブがあり、概ね60歳以上の方なら、どなたも加入することができ、身近な仲間と共に楽しみや喜びをわかち合いながら自らの生きがいと健康づくりのための活動や地域を豊かにする活動に取り組んでいます。

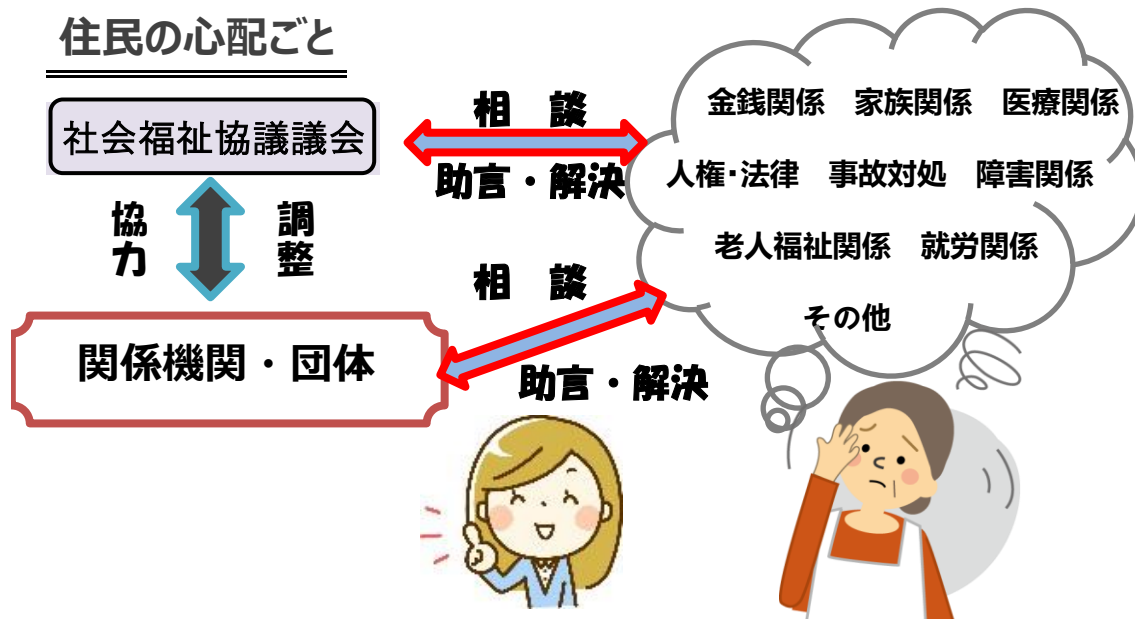
各地域の老人クラブ（単位クラブと呼ぶこともあります）では、有意義な活動を続けていくために常時、会員を募集しております。疑問や入会をご希望される場合は各単位クラブへお気軽にお声かけください。いきなりの入会が不安な方は「体験」からでもいかがでしょう。※町内9クラブの集合体を「浦河町老人クラブ連合会」と呼び当社協が事務局となっております。【お問合わせ 22-6800（浦河町社協）】

会員さん大募集！

心配ごと相談所の運営

社会福祉協議会では、住民の心配ごとに関して、関係機関と連携し相談業務を行って参りました。地域の課題に十分な対応が出来ない事もありますが、少しでもお役に立てられるよう窓口を設けておりますので、お気軽にご連絡下さい。

住民の心配ごと

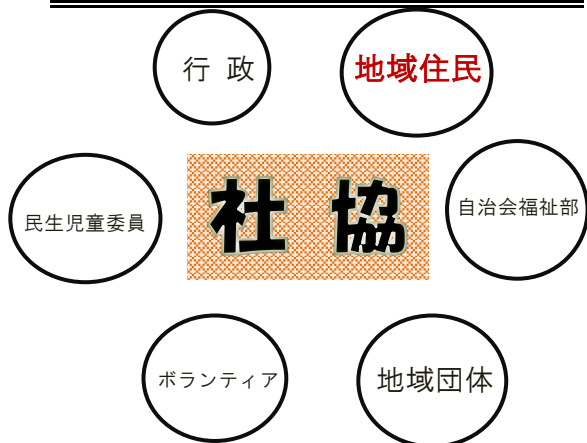


小地域ネットワーク活動の推進

安心・安全の地域づくりを目指して

安心・安全の福祉のまちづくりから**安心・安全の地域づくり**と福祉の分野だけでなく、地域全体で必要な取り組みも当協議会の大切な役割としておりますが、これまで以上に**地域住民皆様のご協力**なくしては達成できない課題が蓄積されておりますが、今一度地域の課題を整理した上で、新たな取り組みに繋げたいと考えております。ぜひ、多くの地域住民の皆様が協力、参加、参画していただきますようお願い申し上げます。

社協をとりまくネットワーク体制



小地域ネットワーク推進会議の開催

従来まで自治会福祉部在宅福祉会議として開催していましたが、今年度小地域ネットワーク推進会議として開催致します。社協役職員、評議員、民生児童委員、自治会福祉部以外にも関連団体等にも参集いただき、**地域の課題を地域で解決していくための協議**を検討しております。(日程8月～9月開催予定)

「浦河赤十字病院を応援する会」設立に向けて

= 発起人会立ち上げ =

平成26年7月住民の暮らしに欠かせない医療体制を維持確保するために町内の産業、福祉団体等の協力の下で設立された「浦河の医療を守る会」の活動を継承しつつ、地域団体のみならず、住民が主体となり現状の医療体制を考え、地域として応援する事を目的に

「浦河赤十字病院を応援する会」を設立することとなりました。

日高管内においても地域医療を支える大きな役割を担っている浦河赤十字病院を地域で支えていくための協力、応援団体を目指しております。

一人でも多くの方が地域医療の現場、課題、重要性の理解をいただき、会員になっていただきますようお願い申し上げます。

※会員は団体・個人問いません。



会員募集

◇会員を募集しております◇

お問い合わせ ~ 浦河町社会福祉協議会内

「浦河赤十字病院を応援する会」発起人会事務局

☎ 0146-22-6800

ご寄附をいただきました皆様に厚くお礼申し上げます

(平成29年4月～平成30年3月受付分)

柵山 ヒサ子 様	中尾 幸子 様	日本キリスト教団元浦河協会 様
山田 昇史 様	榊原 幸治 様	浦河赤十字看護専門学校 様
瀬川 真一 様	塩出 諭 様	
佐々木 ゆり子 様	吉田 秀夫 様	
岸 誠子 様	川村 剛 様	
大井 水与子 様	奥山 英紀 様	

※報道機関への周知をご了承頂いている方のみご掲載しております。